

要塞跡地の観光資源化に関する研究

— 全国を対象にした現状と課題 —

Study on tourism resourceization of fortress ruins

-Current situation and issues for the whole country-

○池ヶ谷 典宏¹, 桜井 慎一², 寺口 敬秀²*Norihiko Ikegaya¹, Shin-ichi Sakurai², Takahide Terakuchi²

The fortress which existed in various parts of Japan built from the Meiji era to the Showa era is on the verge of extinction due to deterioration. Therefore, in this research, conservation is aimed at tourism ground for the battery which is the main axis of the fortress. The results obtained in this research are necessary to register cultural properties and there are many unused sites, so there is a need for maintenance, and there are many ruins in danger of extinction and we will protect it It got the result that it is necessary.

1. 研究背景および目的

下関市の火の山や函館市の函館山といったウォーターフロントで眺望の良い場所では明治から昭和にかけて要塞が建造されてきた。要塞の中核を成す砲台は、その特性上、海を見渡せる場所に設置されていることが多い。また、組積造やコンクリート造が混在する非常に稀な構造物となっているため、歴史的建築物としても価値が高く、平和教育などに利用されている所も存在する。しかし、要塞跡地は放置されているものや老朽化に伴い解体撤去される例も数多く存在する。

そこで本研究では、全国の砲台跡地の現状を調査し、今後における保存や利活用の可能性について考察することを目的とする。

2. 研究方法

調査概要を表-1に示す。

全国の要塞跡地を確認するために「日本築城史-近代の沿岸築城と要塞」¹⁾ および「明治期国土防衛史」²⁾ を用いた文献調査をした結果、全国 13 か所に要塞跡地があり、そこに残っている砲台跡地を 204 か所確認できた。

この 204 か所の砲台跡地が存在する全国の 27 市町村に対しアンケート調査を行ったところ、19 市町村 (70.3%) から回答があり、53 か所の砲台跡地の存在が明らかとなった (表-2)。

3. 結果および考察

アンケート調査結果を表-3に示す。

3-1. 文化財や史跡の指定

「質問 1 : 国や自治体によって文化財や史跡の指定を受けていますか」では、「1-a. 受けている」(11.4%) , 「1-b. 受けていない」(79.8%) , 「1-c. 指定に向けて協議中」(9.5%) という回答だった。

表-1. 調査概要

調査期間	2017年8月1日～9月11日
調査対象	全国に存在する要塞跡地を管理する 27 市町村
調査方法	資料による調査 郵送および電話によるアンケート調査
有効回答数	19 市町村/27 市町村(70.3%) 53 砲台/204 砲台(25.9%)

表-2. 各要塞跡地および自治体の概要と回答数

要塞名	市町村名	資料砲台数	回答	現存砲台数
函館	函館市	7	●	1
	館山市	4	●	2
東京湾	南房総市	1		不明
	富津市	4	●	5
	横須賀市	25	●	4
	三浦市	3		不明
	父島	小笠原村	5	●
舞鶴	舞鶴市	7		不明
	洲本市	11	●	5
由良	和歌山市	15	●	1
	廿日市市	3		不明
広島	江田島市	5	●	1
	呉市	15	●	3
	尾道市	3	●	0
芸予	竹原市	3	●	2
	今治市	3	●	3
	大崎上島町	1		不明
	西宇和郡	4	●	1
豊予	大分市	8	●	1
	下関市	12	●	12
下関	北九州市	13		不明
	壱岐市	9	●	1
対馬	対馬市	25	●	4
長崎	長崎市	3	●	0
	西海市	1		不明
	佐世保市	7		不明
奄美大島	瀬戸内町	7	●	5
合計	27市町村	204砲台	19/27 (70.3%)	53砲台

3-2. 公開の有無

「質問 2 : 現在公開をしていますか」では「2-a. 公開している」(70.3%) , 「2-b. 公開していない」(28.5%) という実態が得られた。

3-3. 現在の砲台跡地の用途

「質問 3 : 現在, 砲台跡地はどの用途で使われていますか」では「3-c. 公園の一部」(57.2%) , 「3-a. 展望台」(36.4%) の順に多いことがわかった。

3-4. 公開するにあたって行った整備

「質問 4 : 公開するにあたって行った整備を教えてください」

1 : 日大理工・院 (前) 2 : 日大理工・教員・海建

表-3. アンケート調査結果

要塞名	函館	東京湾	父島	由良	広島	芸予	豊予	下関	老岐	対馬	奄美大島	合計
砲台数	1/53	11/53	2/53	6/53	4/53	5/53	2/53	12/53	1/53	4/53	5/53	53
質問1：国や自治体によって文化財や史跡の指定を受けていますか												
1-a. 受けている	1/6	3/6	0/6	0/6	2/6	0/6	0/6	0/6	0/6	0/6	0/6	11.4%(6/53)
1-b. 受けていない	0/42	8/42	2/42	6/42	2/42	5/42	2/42	12/42	1/42	4/42	0/42	79.8%(42/53)
1-c. 指定に向けて協議中	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	5/5	9.5%(5/53)
質問2：現在公開をしていますか												
2-a. 公開している	1/37	8/37	2/37	5/37	4/37	5/37	1/37	2/37	1/37	4/37	4/37	70.3%(37/53)
2-b. 公開していない	0/15	2/15	0/15	1/15	0/15	0/15	1/15	10/15	0/15	0/15	1/15	28.5%(15/53)
2-c. 公開に向けて協議中	0/1	1/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	1.9%(1/53)
質問2でaまたはcを選択した場合は質問3から質問6を回答												
質問3：現在、砲台跡地はどの用途で使われていますか（複数回答可）												
3-a. 展望台	0/14	1/14	0/14	2/14	2/14	5/14	1/14	0/14	0/14	2/14	2/14	36.4%(14/38)
3-b. 休憩所	0/8	0/8	0/8	1/8	0/8	5/8	0/8	0/8	0/8	0/8	2/8	20.8%(8/38)
3-c. 公園の一部	0/22	4/22	1/22	2/22	3/22	5/22	1/22	2/22	0/22	1/22	3/22	57.2%(22/38)
3-d. 特に用途はない	1/11	5/11	1/11	2/11	0/11	0/11	0/11	0/11	1/11	0/11	1/11	28.6%(11/38)
3-e. その他	0/3	0/3	0/3	0/3	1/3	0/3	0/3	0/3	0/3	2/3	0/3	7.8%(3/38)
質問4：公開するにあたって行った整備を教えてください（複数回答可）												
4-a. 道案内板設置	0/17	1/17	2/17	1/17	1/17	5/17	1/17	0/17	0/17	3/17	3/17	44.2%(17/38)
4-b. 解説板設置	0/24	2/24	1/24	3/24	3/24	5/24	1/24	2/24	1/24	3/24	3/24	62.4%(24/38)
4-c. 手すり設置	0/5	2/5	0/5	0/5	1/5	0/5	0/5	0/5	0/5	2/5	0/5	13.0%(5/38)
4-d. 電灯設置	0/8	2/8	0/8	0/8	1/8	0/8	1/8	0/8	1/8	1/8	2/8	20.8%(8/38)
4-e. 遊歩道の整備	0/17	3/17	2/17	1/17	1/17	5/17	1/17	0/17	0/17	3/17	1/17	44.2%(17/38)
4-f. 落下防止柵設置	0/10	3/10	0/10	1/10	0/10	0/10	1/10	2/10	0/10	1/10	2/10	26.0%(10/38)
4-g. 草木の伐採	0/18	3/18	1/18	1/18	1/18	5/18	0/18	0/18	1/18	3/18	3/18	46.8%(18/38)
4-h. 遺構の修復	0/1	1/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	2.6%(1/38)
4-i. その他	0/6	1/6	0/6	0/6	3/6	0/6	1/6	0/6	0/6	1/6	0/6	15.6%(6/38)
4-j. 特になし	1/8	6/8	0/8	1/8	0/8	0/8	0/8	0/8	0/8	0/8	0/8	20.8%(8/38)
質問5：砲台跡地を整備および公開した際に問題となったことはありましたか												
5-a. ある	1/14	2/14	0/14	0/14	0/14	5/14	0/14	2/14	0/14	2/14	2/14	36.4%(14/38)
5-b. ない	0/24	7/24	2/24	5/24	4/24	0/24	1/24	0/24	1/24	2/24	2/24	62.4%(24/38)
質問6：現在および今後の課題について教えてください（複数回答可）												
6-a. 人手不足	0/10	2/10	0/10	4/10	0/10	0/10	0/10	0/10	0/10	0/10	4/10	26.0%(10/38)
6-b. 資金の問題	0/9	0/9	0/9	4/9	0/9	0/9	0/9	0/9	1/9	0/9	4/9	23.4%(9/38)
6-c. 遺跡の劣化・修復	1/25	1/25	2/25	5/25	1/25	5/25	1/25	0/25	1/25	4/25	4/25	65.0%(25/38)
6-e. 維持保全が難しい	1/17	0/17	0/17	0/17	1/17	5/17	1/17	0/17	1/17	4/17	4/17	44.2%(17/38)
6-f. 人が来ない	0/5	0/5	0/5	4/5	1/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	13.0%(5/38)
6-g. 周辺施設の不足	0/5	1/5	0/5	0/5	1/5	0/5	0/5	0/5	0/5	1/5	2/5	13.0%(5/38)
6-h. その他	0/7	3/7	0/7	3/7	0/7	0/7	0/7	2/7	0/7	0/7	1/7	18.2%(7/38)
6-i. 特になし	0/7	4/7	0/7	0/7	3/7	0/7	0/7	0/7	0/7	0/7	0/7	18.2%(7/38)
質問2でbを選択した場合は質問7を回答												
質問7：公開できない理由を教えてください（複数回答可）												
7-a. 私有地であるため	0/3	2/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	1/3	0/3	0/3	1/3	20.1%(3/15)
7-b. 危険な場所だから	0/4	1/4	0/4	1/4	0/4	0/4	1/4	0/4	0/4	0/4	1/4	26.8%(4/15)
7-c. 整備資金の不足	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	1/1	6.7%(1/15)
7-d. その他	0/10	1/10	0/10	1/10	0/10	0/10	0/10	8/10	0/10	0/10	0/10	67.0%(10/15)

下さい」では最も多いのが「4-b. 解説板の設置」(62.4%)となり、次いで「4-g. 草木の伐採」(46.8%)という結果となった。更に砲台跡地にアプローチするための「道案内板設置」(44.2%)、「遊歩道の整備」(44.2%)が比較的多いことが判明した。

3-5. 整備した際の問題点

「質問5：砲台跡地を整備した際に問題となったことはありましたか」では「5-a. ある」(36.4%)、「5-b. ない」(62.4%)という結果となった。「5-a. ある」と答えた管理者に詳細を聞いてみたところ、「崩落の危険性があるため一部を制限した」、「ガイド同伴でないと入れない」、「車による入場ができない場所なのに車で来る人がいた」といった問題点が存在する。

3-6. 現在および今後の課題

「質問6：現在および今後の課題について教えてください」では「6-c. 遺跡の劣化・修復」が65.0%と最も多く、次いで「6-e. 維持保全が難しい」(44.2%)であった。「遺跡の劣化・修復」を要塞跡地別に見ると「由

良要塞跡地」(5/6)、「芸予要塞跡地」(5/5)、「対馬要塞跡地」(4/4)、「奄美大島要塞跡地」(4/5)となり、これらは全体の劣化が激しい状況が明らかとなった。また、「6-h. その他」(18.2%)における自由回答欄では「現地へのアクセスが悪いため、駐車場の確保が必要」、「現地までの道が未舗装」といったアクセス性の悪さが課題となる自治体が存在する一方で「国立公園として指定されているため整備が容易ではない」といった法律上の問題が指摘された。

3-7. 公開できない理由

「質問7：公開できない理由を教えてください」では「7-d. その他」(67.0%)、「7-b. 危険な場所だから」(26.8%)、「7-a. 私有地であるため」(20.1%)という結果となった。

【参考文献】

- 1) 浄法寺朝美：「日本築城史—近代の沿岸築城と要塞—」1971年12月 原書房
- 2) 原剛：「明治期国土防衛史」2002年2月 錦正社